■ 第2回日韓歴史研究者共同学会 in 釜山

飛田雄—

「第2回日韓歴史研究者共同学会 在日韓国人・日韓関係歴史の再検討 」が、8月6日~6日、釜山で開かれた。初日が討論会で会場は海雲台B&Bホテル、2日目がフィールドワークである。フィールドワークのことは、次頁に足立さんが書いてくださっているとおりである。



むくげの会からは堀内さんも参加し、後日、むくげメーリングリストに長文の報告を書かれているので、読みたい方は、連絡を。 (メーリングリスト会員にします。)討論会のテーマ等は、以下のとおりである。

戦後日本における戦没者遺骨問題 南相 九(強制動員被害真相糾明委員会)/討論 飛田雄一 朝鮮人徴兵制度の実態 塚崎昌 之(大阪府朝鮮人強制連行真相調査団)/ 討論 崔ジョンゴル(霊南大) 敗戦前後に時期における日本の朝鮮人渡日規制 金 廣烈/討論 樋口雄一 朝鮮女子勤労挺身隊の動員方式 発表 山田昭次(立教大) /討論 鄭ヘギョン((強制動員被害真相糾明委員会) 総括討論 参加者全員

金太基さんの司会で始まったが、冒頭からすべて朝鮮語で、若干?面食らった。開会直前に韓国側から、参加者は全員バイリンガルであるとして時間がないので通訳なし、どちらの言語で発表・討論してもよし、と言われたのである。

双方に日本語・韓国語を理解しないメンバーもいたが、会はドンドンと進められた。 私は、どちらでも良かったが?日本語で討論した。韓国側の発表論文は事前に見ることができなかったので、細かいコメットはできず一般的な討論をした。(堀内さんいわく、発表を聞かなくてもできる討論。)

夕食&交流会は、ホテルのレストランで楽しく終了。二次会は、別のホテルのビヤーガーデンで。そして、精鋭はさらに三次会のカラオケにでかけた。私も堀内さんももちろん精鋭である。



林オンギュさん(右)と飛田

今回の釜山は、前日に釜山入りして林オンギュさんと合流して、フィールドワークに夕食・カラオケ。セミナー終了後もまた合流して、同様なコースをたどった。3日3晩よく食べ飲み歌い、充実した日々であった。